

取扱説明書

耳かけ型補聴器 R24

FUJI BACH 10 RIC / 08 RIC



使用目的

FUJI BACH補聴器（以下、補聴器）は難聴者が音を増幅して聞くことを可能にします。

また聴力を悪化させる恐れのある音の過大な増幅を防ぎます。

禁忌事項

補聴器は以下のような方にはお使いいただけません。

- 耳を治療中の方
- 耳の中に痛みがある方
- 先天的または外傷による明らかな耳の変形がある方
- 過去90日以内に耳漏を生じた経験がある方
- 過去90日以内に急激または急速な難聴の進行を生じた経験のある場合
- 急性または慢性のめまいがある場合
- 耳あか、または異物の集積が明らかな場合
- 中枢性聴覚障害による難聴
- 皮膚に接触する物質に対するアレルギーのある方

【併用禁忌】

MRI 検査を行う場合は、補聴器を検査室に持ち込まないでください。[誘導起電力による局所的な発熱で火傷のおそれがあります。また、磁気により本製品がMRI 装置に吸着されたり故障する可能性があります。]

次のような症状が見られた場合は補聴器の使用を中止して医師にご相談ください

- ・耳漏が生じたとき
- ・耳の治療が必要になったとき
- ・耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき
- ・耳の皮膚が赤くなったり、かゆみ、湿疹が生じたとき
- ・使用していて頭痛や吐き気、疲れが生じたとき
- ・補聴器の外観、音質、音量などに異常を感じたとき

目次

1	はじめに	6	42	補聴器とAndroidデバイスのペアリング	24
2	補聴器について	7	43	フライトモード	25
21	概要	7	5	アクセサリ	26
22	機種タイプ	7	6	補聴器のお手入れ	27
3	操作方法	8	61	一般的な使用方法	27
31	各部名称	8	62	毎日のお手入れ	27
32	/オフ	9	7	故障かな…と思ったら	29
33	内蔵リチウムイオン充電電池	11	8	使用上の注意	32
34	バッテリー使用時間	11	81	警告	32
35	バッテリー充電時間	11	82	注意	32
351	充電レベル	12	9	環境条件	36
36	補聴器の着脱	13	91	使用条件	36
361	補聴器の装着	13	92	充電条件	36
362	補聴器の取り外し	14	93	輸送および保管条件	36
37	音量調節とプログラム選択	15	10	廃棄について	37
371	多機能ロッカースイッチ	15	11	記号の説明	38
372	音量調節	16			
373	プログラムの選択	17			
374	その他の操作	19			
375	多機能ロッカースイッチの操作内容	20			
4	ワイヤレス機能/Bluetooth接続				
	スマートフォンとの互換性	21			
41	iOSデバイスで補聴器を使用する	21			
411	補聴器とiOSデバイスのペアリング	21			
412	ペアリング完了	22			
413	メニューからの操作 → MFi補聴器	23			

1 はじめに

FUJI BACH補聴器をご購入いただきありがとうございます。
本取扱説明書は、補聴器を正しく使用し、補聴器を最大限に活用いただくためよくお読みください。

⚠ 注意：
補聴器を使用する前に、警告マーク ⚠ の付いた文章をよくお読みください。

📖 このセクションでは、補聴器についての理解を深めていただくために、さらに詳しい情報を提供します。

補聴器は聴力を正常に戻したり、物理的な難聴を防ぐものではありません。

最大限の効果を得るためには、補聴器を定期的に使用することが重要です。

使用者自身や他の人への危険を避け、補聴器の故障や不具合を防ぐため、以下の操作およびメンテナンスに関する指示をよくお読みください。

📖 補聴器の操作やお手入れについてご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または、お客様相談窓口へご連絡ください。

2 補聴器について

2.1 概要

補聴器は耳かけ型補聴器です。レシーバーは外耳道に直接設置します。

2.2 機種タイプ

本取扱説明書は、以下の補聴器に適用されます：

機種名	バッテリー		最大音響利得 (dB)(ピーク値)			適応範囲
	容量 (mAh)	動作時間(h)	S	M	P	
10 RIC	28	最大23時間	52	58	64	軽度から重度の難聴
08 RIC	28	最大23時間	52	58	64	軽度から重度の難聴

この補聴器の無線機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. この補聴器の無線機能を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この補聴器の無線機能と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの補聴器の無線機能の使用場所を変えるか、または使用を停止(電波の発射を停止)してください。

送信パワー：0 dBm (1 mW)

周波数：2400 - 2485 MHz

範囲：10メートル

技術基準適合証明



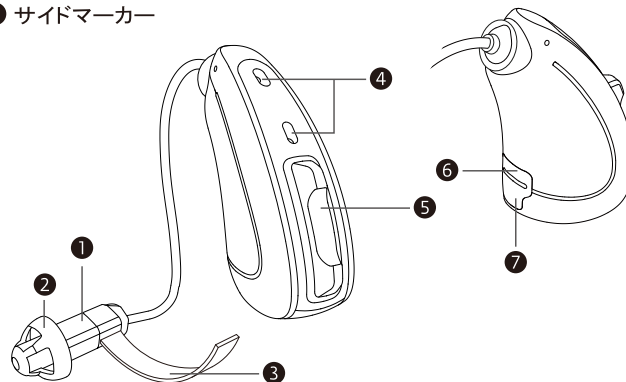
202-JCE136

3 操作方法

3.1 各部名称

補聴器は以下の要素で構成されています：

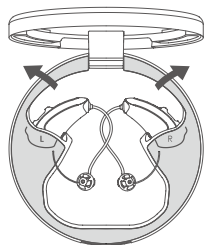
- ① レシーバー
- ② ドーム(耳せん)
- ③ コンチャクリップ
- ④ マイク開口部
- ⑤ 多機能ロッカースイッチ
- ⑥ 製造番号表示
- ⑦ サイドマーカー



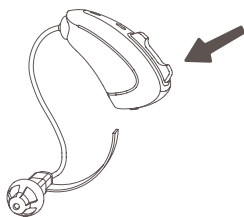
☞ 補聴器にはサイドマーカーが付いています：青＝左、赤＝右

3.2 補聴器のオン/オフ

補聴器の電源のオン/オフは、多機能ロッカースイッチの下側のスイッチで行います。



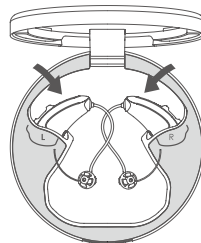
あらかじめ補聴器を充電した後に、power caseから補聴器を取り出してください。



多機能ロッカースイッチの下側のスイッチを短く押す。
これで補聴器の電源が入ります。

3秒後に開始メロディーが鳴り、最初のプログラムが起動します。
補聴器は使用可能となります。

☞ 補聴器はスイッチを押した3秒後に起動します。



power caseを使用して電源を切る。

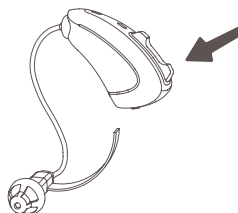
power caseの所定の充電スロットに補聴器を入れます。
補聴器はケースに収納されると自動的に電源が切れます。

power caseのLED表示が白色に5回点滅し、充電が開始されたことを示します。

☞ 充電時はpower caseが以下のいずれかであることを確認してください。

1. 電源に接続されているか
2. 十分に充電されているか。

power caseの蓋を開けたときのLED表示でバッテリーの状態を確認してください。power caseの取扱説明書を参照してください。



多機能ロッカースイッチによる電源オフ

多機能ロッカースイッチの下側のスイッチを押し続けると5秒後に音が止まります。音が止まったら、スイッチを離します。これで補聴器の電源がオフになります。

3.3 内蔵リチウムイオン充電電池

補聴器はリチウムイオン充電電池で作動します。

電池寿命は、有効な機能、使用しているワイヤレスアクセサリ、難聴の程度、聴力環境によって異なります。

△注：長期間（3ヶ月以上）補聴器を使用しない場合は、電池の過放電を防ぐため、補聴器を充電してください。

3.4 バッテリー使用時間

バッテリー残量が少なくなると、警告音でお知らせします。通常、残り約 2 時間の使用が可能です。バッテリー残量が2時間を下回るとワイヤレス機能は使用できません。

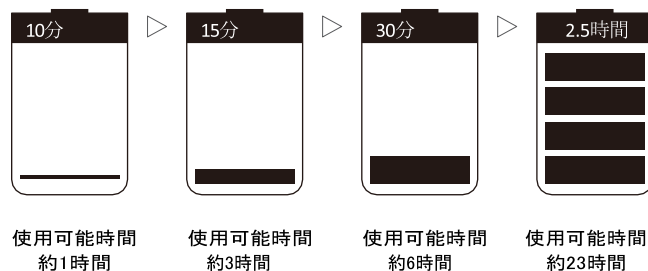
3.5 バッテリー充電時間

バッテリー残量が0%からフル充電されるには約3時間かかります。

power caseとpower baseの具体的な使用方法については、charge & dryの取扱説明書を参照してください。

3.5.1 充電レベル

充電時間の概要：

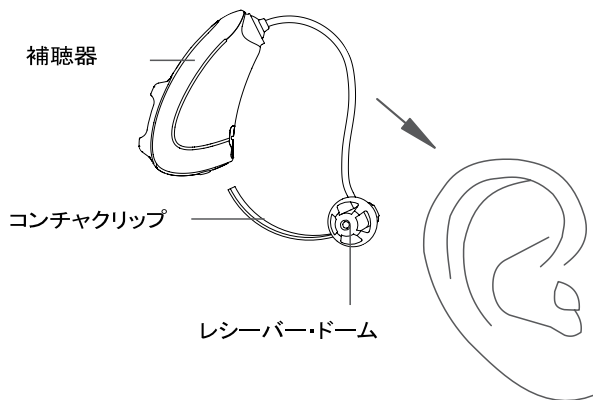


詳細については、charge & dryの取扱説明書を参照してください。

3.6 補聴器の着脱

3.6.1 補聴器の装着

補聴器本体を耳の後ろに当てます。レシーバーを外耳道(耳の穴)にゆっくりと押し込みます。



🔊 補聴器にはサイドマーカ―が付いています。

青＝左、赤＝右



付属のコンチャクリップは、レシーバーの耳へのフィット感を高めます。

コンチャクリップを少し折り曲げ、イラストのように慎重にセットします。

⚠ 注意

レシーバーは、必ず適切なドームと一緒に使用してください。ドームがレシーバーの溝に完全に収まって取り付けられていることを確認してください。

レシーバーの先端にワックスガード(白色の樹脂部品)が取り付けられていることを確認してください。

コンチャクリップを外耳道に挿入しないでください。

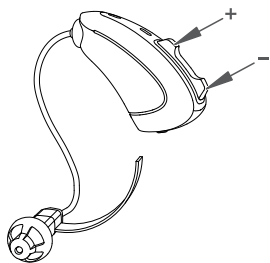
3.6.2 補聴器の取り外し

補聴器をゆっくりと持ち上げ、外側の部分を滑らせます。

レシーバーを外耳道から慎重に引き出します。

3.7 音量調節とプログラム選択

3.7.1 多機能ロッカースイッチ



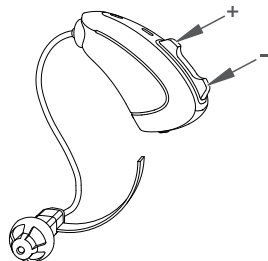
補聴器には多機能ロッカースイッチがあります。

上側のスイッチを押す、または下側のスイッチを押すと、以下の機能を使用することができます：

○音量調節
(3.7.2参照)

○プログラムの選択
(3.7.3参照)

3.7.2 音量調節



音量は多機能ロッカースイッチで段階的に調節できます：

- 上側のスイッチを短く押すと音量が大きくなります。
- 下側のスイッチを短く押すと音量が小さくなります。

補聴器の電源を入れると、補聴器は事前に設定された音量で起動します。

スイッチを押すたびに短い音が鳴ることで、音量調節がおこなわれたことをお知らせします。

音量の上限または下限に達すると短い音が3回鳴ってお知らせします。

3.7.3 プログラムの選択

さまざまな聴力環境（騒がしい場所、静かな部屋など）に合わせて、異なるプログラムを設定することができます。補聴器の電源を入れると、基本プログラムが起動します。補聴器の多機能ロッカースイッチで、これらの異なるプログラムに切り替えることができます。

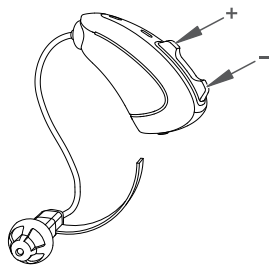
プログラムを変更するには、ロッカースイッチの上側のスイッチまたは下側のスイッチを約1秒押し続けます。高音の確認音が聞こえます。スイッチを離すと、プログラム番号に対応する回数の音が鳴ることで選択されたプログラムが確認できます。

- 上側のスイッチを約1秒押す >> 次のプログラムに切り替える。
- 下側のスイッチを約1秒押す >> 前のプログラムに切り替える。

プログラム変更の流れ：
上側のスイッチ：



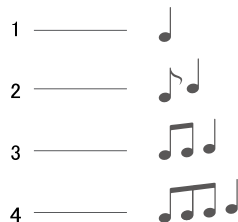
下側のスイッチ：



スイッチを押すたびに確認音が鳴ります。確認音の鳴る回数が選択されたプログラムの番号を示します。

プログラムの識別

プログラム 確認音の鳴り方



3.7.4 その他の操作

下側のスイッチを約3秒押すと、補聴器の電源がオフになります。(3.2参照)

上側のスイッチを約3秒押すと、補聴器はフライトモードになります。(4.3参照)

3.7.5 多機能ロッカースイッチの操作内容

補聴器の状態 オン/オフ	上側のスイッチ	スイッチを押す 長さ	下側のスイッチ
電源オン	音量アップ	通常 (短く)	音量ダウン
電源オン	次のプログラム	長押し (約1秒)	前のプログラム
電源オン	フライトモード	長押し (約3秒)	電源オフ
電源オフ	—	通常 (短く)	電源オン

4 ワイヤレス機能 /Bluetooth接続

スマートフォンとの互換性

補聴器は、Bluetoothバージョン4.0以上の一般的なスマートフォンと互換性があります。

FUJI BACH アプリの詳細については、対応する取扱説明書を参照してください。

4.1 iOSデバイスで補聴器を使用する

4.1.1 補聴器とiOSデバイスのペアリング (iPhoneなど)

補聴器とiOSデバイスをペアリングする必要があります。
以下の手順に従ってください：

1. iPhoneのアイコン → 設定をタッチします。
2. 設定メニューの
→ アクセシビリティ → ヒアリングデバイス
3. この画面で機能→Bluetoothがまだ無効になっている場合は、Bluetoothを有効にしてください。iPhoneがデバイスを検索している間に、補聴器を再起動してください。
この操作でペアリングモードになります。

4. iPhoneのデバイスリストに補聴器が表示されたら、適切なデバイス名を選択してペアリングを完了します。5～7秒以内にペアリングが完了しない場合は、画面左上の端を押して、→ アクセシビリティに戻り、→ MFi補聴器を再度開きます。
5. 補聴器が表示されたら、iOSデバイスに接続するために補聴器を選択します。
6. それぞれの補聴器に1つずつ、2つのペアリング要求が表示されます。両方の要求に対して → ペアリング を選択し、接続を確定します。ペアリング要求の間に若干の遅れが生じる場合があります。
7. これでペアリングは完了です。

4.1.2 ペアリング完了

補聴器とiOSデバイスがペアリングされていることを確認してください。

iOSデバイスで補聴器を操作するには、2つの方法があります：

1. メニューから → 補聴器 (4.1.3章参照)
2. iOSデバイスの「クイックスタート」メニューから。

どちらのメニューでも以下の設定が可能です：

1. マイク音量
2. 希望する聴カプログラム
3. iOSデバイスのマイクからの音声信号を直接送信する機能を有効にする。
iOSデバイスを補聴器に接続することで、iOSデバイスをテーブルマイクに変えることができます。

4.1.3 メニューからの操作 → MFi補聴器

サブメニュー → ヒアリングデバイス に移動します。

これは次の場所にあります：

- 設定
- アクセシビリティ
- ヒアリングデバイス

補聴器の設定にアクセスするには、「接続」セクションで補聴器を選択します。

iOSデバイスと補聴器のペアリングや使用に関してサポートが必要な場合はお買い上げの販売店または、お客様相談窓口へご連絡ください。

追加機能や特徴についてはFUJI BACH アプリをダウンロードすることができます。

4.2 補聴器とAndroidデバイスのペアリング

アンドロイド端末を使用して補聴器を操作するには、補聴器とアンドロイド端末をペアリングしてください。以下の手順に従ってください：

1. アイコン → 設定 をタッチします。
2. Bluetoothを選択し、オンにします。
3. 補聴器を再起動します。これでペアリングモードになります。
4. Bluetooth設定の「ペアリングされたデバイス」セクションで、ファーストネームの後に「補聴器」が続く項目を探します。
右と左の補聴器を装用している場合は、別々の項目が表示されます。ペアリングしたい補聴器に応じて、適切なエントリを選択してください。
5. 一度選択すれば、ペアリングは完了です。

4.3 フライトモード

飛行機の中など、ワイヤレス通信が禁止されている場所では、フライトモードを有効にしてください。



補聴器のフライトモードを作動させるには、多機能ロッカースイッチの上側のスイッチを5秒間押します。フライトモードが起動したことを示す「エアモード」のメロディーが聞こえます。メロディーが聞こえたら、スイッチを放してください。補聴器のすべてのワイヤレス機能が無効になります。

フライトモードを解除するには、補聴器の電源をオフにし、再度オンにしてください。

☞フライトモードは左右の補聴器で個別に起動する必要があります。

5 アクセサリー

FUJI BACH補聴器には以下の付属品があります：

名称	付属品の説明
FUJI BACH アプリ	スマートフォンで補聴器の操作をおこないます。
チャージアンドドライ (charge & dry)	FUJI BACH補聴器専用充電乾燥器セット (power case、power base)
コンチャクリップ	レシーバーを外耳道にフィットさせるためのものです。

6 補聴器のお手入れ

6.1 一般的な使用方法

補聴器の性能を維持し長期間ご使用いただくには、定期的なクリーニングとケアが欠かせません。

補聴器は濡らさないようにし、シャワーや汗、雨などの湿気にさらさないようにしてください。ヘアスプレーなどの化粧品を使用する際は、補聴器を取り外してください。

6.2 毎日のお手入れ

補聴器の毎日のお手入れをお勧めします。どのような補聴器を装用していても、補聴器は直接肌に触れるものです。補聴器は直接肌に触れるものです。補聴器は直接肌に触れ、汗にさらされるため、長期的なダメージを防ぐためには、毎日のお手入れと乾燥が大切です。

補聴器の乾燥とお手入れには、charge & dryをお使いください。このアクセサリーは補聴器の充電、乾燥に役立ちます。使用方法の詳細については取扱説明書をご確認ください。

補聴器やレシーバーは、毎日耳あかやその他の汚れを取り除いてください。

☞ 補聴器のお手入れには湿った布を使用しないでください。
必ず乾いた柔らかい布を使用してください。

☞ 超音波洗浄器で補聴器を洗浄しないでください。

定期的なお手入れにもかかわらず、補聴器が正しく機能しなくなった場合はお買い上げの販売店または、お客様相談窓口へご連絡ください。いかなる場合でも、補聴器をご自分で修理しようとししないでください。

7 故障かな…と思ったら

補聴器の使用中に問題が発生したときは
まず、以下のことをチェックしてください：

- 電源がオンになっているか。
- バッテリーが十分に充電されているか。
- 音量設定が最小になっていないか。
- 正しいプログラムが選択されているか。
- レシーバーに異物が詰まっていないか。

問題が解決しない場合はお買い上げの販売店または、お客様
相談窓口へご連絡ください。



注意

他の電気機器から電波干渉を受ける場合があります。その
場合は、干渉源から離れるようにしてください。

不具合内容

考えられる原因

解決方法

音が何も 聞こえない。	バッテリーの残量が不足している。	補聴器を充電する
	レシーバーが目詰まりしている。	レシーバーの清掃をおこなう。
	補聴器の電源は入っていますか？	補聴器のスイッチを入れる。
	外耳道 に 過剰な耳垢がある。	耳鼻咽喉科医に相談する。
	power caseのバッテリーの残量が不足している。	power caseを充電する。

音が聞こえにくく、静かすぎる	レシーバーへの異物詰まり	レシーバーの清掃をおこなう。
	水分の侵入	乾いた布で補聴器を拭いてから乾燥させる。
	補聴器の故障の可能性	お買い上げの販売店または、お客様相談窓口へご連絡ください。

不具合内容	考えられる原因	解決方法
ハウリング (ピーピー音)	レシーバーが外耳道の適切な位置に装着できていない。	補聴器を装着しなおす。
	外耳道に過剰な耳垢がある。	耳鼻咽喉科医に相談する。

Bluetooth接続ができない。	スマートフォンと補聴器のペアリング不良	1) 補聴器のペアリング設定を解除する。 2) スマートフォンでBluetoothをOFFにし、再度ONにします。 3) 補聴器の電源を切り、もう一度入れてください。 4) 補聴器を再度ペアリングします。
-------------------	---------------------	---

8 使用上の注意

8.1 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



補聴器や小さな部品は誤って飲み込む可能性があります。子供やペットの手の届かない場所に保管してください。
万が一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



補聴器は使用者ご本人の難聴の程度に合わせて調整されています。怪我や感染を防ぐため補聴器を他の人と共有しないでください。



純正のメーカー指定消耗品（ドームなど）およびアクセサリーのみを使用してください（charge & dryを含む）。



補聴器を改造しないでください。調整が必要なおきはお買い上げの販売店または、お客様相談窓口へご連絡ください。



電子機器や無線機器の使用が制限されている環境では、補聴器の無線接続（Bluetoothなど）を無効にする必要があるかどうかを確認し、必要に応じてフライトモードに設定してください。



ペースメーカーなどの体内植込み型医療機器を使用している場合は補聴器の使用に関してメーカーの指示に従ってください。



フィッティングを行う専門家の方への警告：
この補聴器は132dB SPL以上の出力がある場合があります。フィッティングの際には充分注意してください。

8.2 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が損害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。



補聴器は衝撃に敏感です。落としたり、ぶつけたりしないようにしてください。
補聴器を装着する前に、補聴器に損傷がないか目視で確認してください。

異変に気づいたらお買い上げの販売店または、お客様相談窓口へご連絡ください。



以下の状況では補聴器を外してください。

- ・ 水泳中、シャワー中、入浴中、サウナ利用中
- ・ 洗髪中またはブロー中
- ・ ヘアスプレー、香水、アフターシェーブ、ボディローションを使用する場合
- ・ 高周波温熱療法を受ける場合



補聴器が濡れた場合は十分に乾燥させてください。電子レンジやオーブンなどを使用しないでください。



破損を防ぐため、補聴器は直射日光、炎、極度の熱から保護してください。これらの注意を怠ると、補聴器が破損する恐れがあります。



補聴器を外す際にドームが外耳道に残ることがまれにあります。このような場合は、直ちに医師にご相談ください。ご自分でドームを取ろうとしないでください。



引火の危険性がある環境での補聴器の使用は避けてください。



長期間補聴器を使用しない場合は、過放電による電池の

損傷を防ぐため、少なくとも3ヶ月に1回は補聴器を充電してください。



他の電気機器から電波干渉を受けている場合があります。その場合は、干渉源から離れるようにしてください。



CTスキャン、MRIスキャン、放射線治療を受ける前には補聴器を外してください。

補聴器を使用していることを医療従事者に伝えてください。



補聴器にはリチウムイオン充電電池を使用しており、power caseにはリチウムポリマー電池が入っています。これらのバッテリーの取り扱いについては、航空会社の規定をご確認ください。



充電する前に乾いた布で補聴器を拭いてください。補聴器をパワーケースに正しく挿入し、力を加えないようにしてください。湿気の多い場所や補聴器が機械的に損傷している場合は、充電を行わないでください。



強い磁場は補聴器を損傷する可能性があります。補聴器を強力な磁石の近くや磁気カードの上に直接置かないようにしてください。



補聴器のサイドマーカ―は外さないでください。緩んだり紛失したりした場合は、お買い上げの販売店または、お客様相談窓口へご連絡ください。



補聴器とレシーバーの左右が一致していることを確認してください。一致しない場合は、お買い上げの販売店または、お客様相談窓口へご連絡ください。



補聴器と外部機器を接続する場合は安全規格に適合していることをご確認ください。

9 環境条件

9.1 使用条件

- 相対湿度10%～90%
- 動作温度 0°C ～ 40°C
- 気圧500～1,100hPa
- 寒冷環境ではバッテリーの性能が低下する可能性があります。

9.2 充電条件

- 周囲温度 0°C ～ 40°C

9.3 輸送および保管条件

- 相対湿度10%～95%
- 保管温度 -20°C ～ 45°C
- 磁場から離して保管する。

10 廃棄について

使用済み補聴器の処理方法

「使用済み小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」の「使用済み小型電子機器等の回収に係るガイドライン」で補聴器は特定対象品目に指定されました。ご不用になった補聴器は、お住まいの市町村の指示に従って処理してください。ご不用になった付属品は、お住まいの市町村の指示に従って廃棄してください。

本製品はリチウムイオン電池を使用しています。本製品を廃棄される場合は、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。



警告マーク: 補聴器の取り扱いや使用時に注意が必要な情報を示します。



お使いいただくための補足情報



EU医療機器規則(EU)2017/745およびEU指令90/385/EEC、93/42/EEC、98/79/ECに準拠した医療機器メーカーを示します。



補聴器の製造年月日を示します。



家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。



医療機器であることを示します。



カタログ番号。製造業者の参照番号を示します。



機器固有識別子。医療機器を識別するためのコードです。



製造番号



ロット番号



EU規制適合



充電式電池でのみ駆動可能な機器です。

製造元:

audifon GmbH & Co.KG/(GERMANY)

製造販売元:

株式会社フジ医療器

【お客様相談・サイバーセキュリティ問合せ窓口のご案内】

修理・お手入れ・お取り扱いなどのご相談は、まずご購入先へご連絡ください。

フリーダイヤル 0120-027-612

受付: 平日9:00～17:30

※土日祝日・年末年始・夏季休業日を除く。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて株式会社フジ医療器は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。

また、折り返し電話させていただくための、ナンバーディスプレイを採用しています。

なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。